



受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）」は、2015年6月8日に第93期決算を行いました。

当ファンドは、新興国の現地通貨建て債券に実質的に投資を行い、中長期的な観点から、安定的なインカム・ゲインの確保と信託財産の成長をはかることを目標として積極的な運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに謹んで当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第93期末（2015年6月8日）

基準価額	6,124円
------	--------

純資産総額	563百万円
-------	--------

第88期 ～ 第93期

騰落率	△8.5%
-----	-------

分配金(税込み)合計	150円
------------	------

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 基準価額および分配金は1万円当たりです。(以下同じ)

- 2014年12月1日施行の法改正に伴い、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」の2種類になりました。本書は「運用報告書(全体版)」から重要な事項を抜粋して記載した「交付運用報告書」です。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス (<http://www.barings.com/jp>)

⇒「個人のお客様」を選択

⇒「投資信託情報」を選択⇒「投資信託一覧」を選択

⇒当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

交付運用報告書

ベアリング新興国債券ファンド(毎月決算型)

(愛称)あすなる

追加型投信/海外/債券

第88期(決算日2015年1月8日) 第91期(決算日2015年4月8日)

第89期(決算日2015年2月9日) 第92期(決算日2015年5月8日)

第90期(決算日2015年3月9日) 第93期(決算日2015年6月8日)

作成対象期間(2014年12月9日～2015年6月8日)

運用報告書に関する弊社お問い合わせ先

ベアリング投信投資顧問株式会社 営業本部

電話番号：03-3501-6381

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込みされた販売会社にお尋ねください。

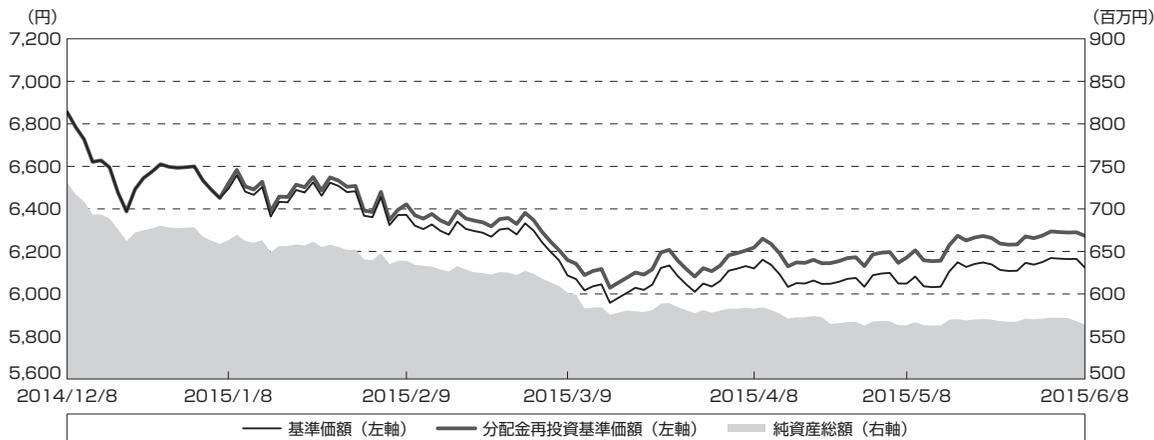
ベアリング投信投資顧問株式会社

東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー12階

<http://www.barings.com/jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移 (2014年12月9日～2015年6月8日)



第88期首：6,855円
 第93期末：6,124円 (既払分配金：150円)
 騰落率：△8.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 作成期間とは、表紙記載の作成対象期間を示します。(以下同じ)
 (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2014年12月8日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
 (注) 上記既払分配金は、作成期間中の分配金(税込み)合計額です。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「ベアリング新興国債券マザーファンド」における当作成期間の基準価額の騰落率は7.7%の下落となりました。

上昇要因

保有債券からの利子収入等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ブラジルリアルやトルコリラ等の投資対象通貨が円に対して下落したことや、ブラジル等での金利上昇により組入債券の価格が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細（2014年12月9日～2015年6月8日）

項 目	第88期～第93期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 49	% 0.775	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(24)	(0.371)	投信会社分は、ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
（販売会社）	(24)	(0.383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	14	0.230	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(11)	(0.173)	保管費用は、資産を海外で保管する場合の費用
（監査費用）	(3)	(0.050)	監査費用は、ファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.007)	信託事務の処理に要する諸費用
合 計	63	1.005	
作成期間中の平均基準価額は、6,274円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。なお、(b) その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 信託報酬および監査費用にかかる消費税は作成期間末の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

最近5年間の基準価額等の推移 (2010年6月8日～2015年6月8日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2010年6月8日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2010年6月8日 決算日	2011年6月8日 決算日	2012年6月8日 決算日	2013年6月10日 決算日	2014年6月9日 決算日	2015年6月8日 決算日
基準価額 (分配落ち) (円)	6,431	6,410	5,105	6,436	6,384	6,124
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	480	315	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.4	△13.2	33.1	4.1	0.6
純資産総額 (百万円)	1,843	1,591	1,019	1,026	923	563

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境（2014年12月9日～2015年6月8日）

当作成期間の現地通貨建て新興国債券市場は、米国における金融政策をめぐる不透明感が高まったことやギリシャの債務問題が懸念されたことなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が高まり、総じて軟調に推移しました。

作成期初、新興国債券市場は原油価格の下落による負の影響が複数の国で顕在化し始めたことや、政情不安が高まっているギリシャのユーロ圏離脱の可能性が出てきたことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が高まり、軟調に推移しました。特に、ブラジルでは、原油価格の下落に加え、インフレが高止まりしている状況であることなどを背景に、長期債利回りが上昇し、債券市場が下落しました。また、トルコについては、国内の政情不安が高まったことや、通貨安により利下げ観測が後退したことなどを背景に、長期債利回りが上昇し、債券市場は下落しました。

2015年初、ECB（欧州中央銀行）による量的緩和の実施の決定を受けて、先進国、新興国ともに長期債利回りが低下傾向を辿り、債券市場が堅調に推移する局面もありましたが、米国での金融政策をめぐる不透明感が高まったことと、ギリシャの債務問題が懸念されたことなどをを受けて、再び投資家のリスク回避姿勢が高まり、新興国債券市場は軟調に転じました。ブラジルでは、断続的に経済成長率が下方修正されたことなどから、長期債利回りは上昇し、通貨リアルも大きく下落しました。また、インドネシアでは、経常赤字削減策を打ち出す方針を明らかにしましたが、米国の利上げ観測を背景とした通貨ルピアの更なる下落が懸念材料となり、長期債利回りは上昇しました。

作成期末にかけて、米国の景気動向や金融政策の行方や、ギリシャ問題を中心としたユーロ圏の動向についての不透明感が高まっているなか、新興国債券市場は横ばいで推移し作成期を終えました。

当作成期間における為替市場では、新興国通貨は、総じて円に対して軟調に推移しました。特に、ブラジルリアルは、1ブラジルリアル作成期初46円台から作成期末39円台へと円に対して下落しました。

当ファンドのポートフォリオ（2014年12月9日～2015年6月8日）

<ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）>

当作成期間を通じて、「ベアリング新興国債券マザーファンド」受益証券の組入比率を比較的高位に保ちました。具体的な運用経過等につきましては、下記マザーファンドの運用経過をご参照ください。

<ベアリング新興国債券マザーファンド>

当作成期間における基準価額の騰落率は7.7%の下落となりました。ブラジルリアルやトルコリラ等の投資対象通貨が円に対して下落したことや、ブラジル等での金利上昇により組入債券の価格が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

当作成期間における組入債券の通貨配分については、債券および通貨（対円）が共に軟調に推移したブラジルリアルの組入比率が引き下がった結果、インドネシアルピアが組入れ首位となりました。債券の種別配分では引き続き国債のみの組入れとなりました。

【組入債券の種別構成】

作成期首 (2014年12月8日現在)

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	89.3

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

作成期末 (2015年6月8日現在)

No.	種 別	比率 (%)
1	国債証券	92.4

【組入債券の通貨別構成上位5通貨】

作成期首 (2014年12月8日現在)

No.	通 貨	比率 (%)
1	ブラジルリアル	17.2
2	トルコリラ	16.7
3	インドネシアルピア	16.5
4	メキシコペソ	15.7
5	ポーランドズロチ	13.0

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

作成期末 (2015年6月8日現在)

No.	通 貨	比率 (%)
1	インドネシアルピア	18.1
2	メキシコペソ	17.0
3	ブラジルリアル	16.9
4	トルコリラ	16.3
5	ポーランドズロチ	13.5

【組入債券の上位5銘柄】

作成期首 (2014年12月8日現在)

No.	銘柄名	カーボン (%)	償還日	国 (地域)	比率 (%)
1	ブラジル国債	10	2017年1月1日	ブラジル	17.2
2	トルコ国債	10	2015年6月17日	トルコ	16.7
3	インドネシア国債	10.75	2016年5月15日	インドネシア	16.5
4	メキシコ国債	6.5	2022年6月9日	メキシコ	15.7
5	ポーランド国債	5.75	2022年9月23日	ポーランド	13.0

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

作成期末 (2015年6月8日現在)

No.	銘柄名	カーボン (%)	償還日	国 (地域)	比率 (%)
1	インドネシア国債	10.75	2016年5月15日	インドネシア	18.1
2	メキシコ国債	6.5	2022年6月9日	メキシコ	17.0
3	ブラジル国債	10	2017年1月1日	ブラジル	16.9
4	トルコ国債	10	2015年6月17日	トルコ	16.3
5	ポーランド国債	5.75	2022年9月23日	ポーランド	13.5

■ 当ファンドのベンチマークとの差異 (2014年12月9日~2015年6月8日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金（2014年12月9日～2015年6月8日）

第88期から第93期の分配金については、基準価額の水準、市況動向等を勘案して1万口当たりそれぞれ25円（税込み）を分配させていただきました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2014年12月9日～ 2015年1月8日	2015年1月9日～ 2015年2月9日	2015年2月10日～ 2015年3月9日	2015年3月10日～ 2015年4月8日	2015年4月9日～ 2015年5月8日	2015年5月9日～ 2015年6月8日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.383%	0.391%	0.409%	0.407%	0.412%	0.407%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	348	355	358	381	383	394

（注）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。小数点以下第4位を四捨五入して表示しています。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ベアリング新興国債券ファンド（毎月決算型）>

「ベアリング新興国債券マザーファンド」受益証券を高位に組入れ、中長期的な観点から、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長をはかることを目標として運用を行う方針です。

<ベアリング新興国債券マザーファンド>

多くの新興諸国では、財政状況や経済の成長性などを含む経済ファンダメンタルズは良好であるにもかかわらず、先進諸国と比較して、新興国の債券と通貨が魅力的な水準で推移していることを背景に、今後も、現地通貨建て新興国債券市場に対する明るい見通しを維持しています。短期的には、現地通貨建て新興国債券市場は、世界経済の動向や米国をはじめとした主要国の金融政策に関する不確実性、ギリシャにおける債務問題を含む欧州経済の先行きに対する懸念、原油価格の見通しなどにより左右され、不安定に推移する局面も想定されます。しかしながら、新興諸国の経済ファンダメンタルズに対して、バリュエーションが魅力的な水準で推移していることなどが支援材料となり、現地通貨建て新興国債券市場は、中長期的には底堅く推移するものと考えています。

なお、当ファンドは、2015年12月7日に信託期間終了を迎えるため、今後、マザーファンドに組入れの有価証券を順次売却し、現金化を図る予定です。

お知らせ

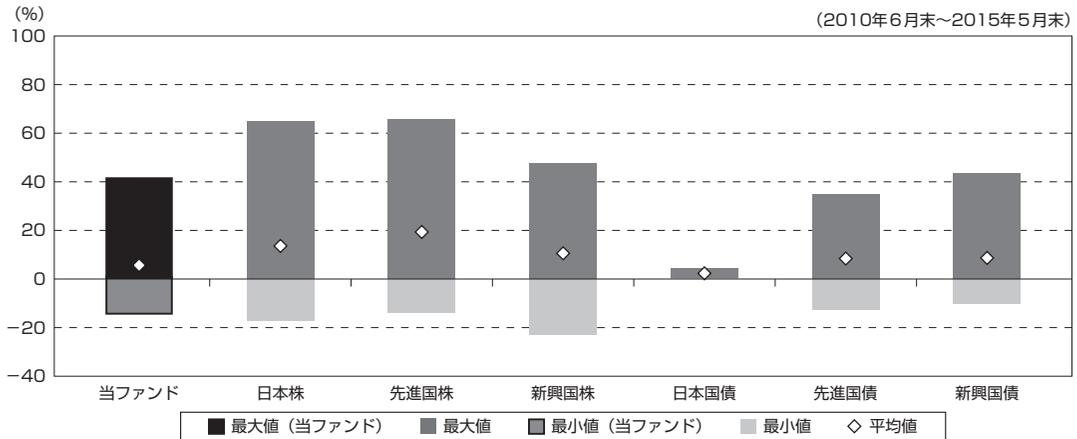
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	信託期間は2007年6月29日から2015年12月7日です。なお、受益者に有利であると認めたときは、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することができます。	
運 用 方 針	主としてベアリング新興国債券マザーファンド受益証券に投資を行い、中長期的な観点から、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長をはかることを目標として積極的な運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	ベアリング新興国債券ファンド(毎月決算型)	ベアリング新興国債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ベアリング新興国債券マザーファンド	新興国の政府、政府機関、もしくは企業が発行する現地通貨建て債券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	<p>①主としてベアリング新興国債券マザーファンド受益証券を通じて、新興国の現地通貨建て債券を主要投資対象とします。</p> <p>②毎月の分配を目指します。</p> <p>③為替変動リスクに関しては、原則として外貨建て資産について円に対する為替ヘッジは行いません。</p> <p>④ベアリング新興国債券マザーファンドの運用にあたっては、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド（英国法人）に運用指図に関する権限を委託します。</p> <p>⑤マザーファンド受益証券の組入比率は、高位を保つことを原則とします。ただし、資金動向等によっては組入比率を引き下げることもあります。</p>	
分 配 方 針	毎決算時に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額を分配の対象とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定いたします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.9	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△14.6	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	5.7	13.6	19.4	10.6	2.4	8.5	8.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年6月から2015年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

(注) 詳細は最終ページをご参照下さい。

当ファンドのデータ

組入資産の内容 (2015年6月8日現在)

○組入上位ファンド

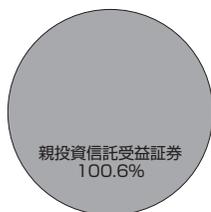
ファンド名	第93期末
	%
ベアリング新興国債券マザーファンド	100.6
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

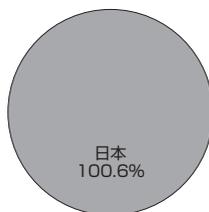
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 計理処理上、組入比率が100%を超える場合があります。(以下同じ)

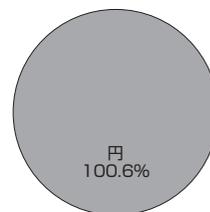
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

純資産等

項目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末
	2015年1月8日	2015年2月9日	2015年3月9日	2015年4月8日	2015年5月8日	2015年6月8日
純資産総額	663,182,603円	639,003,725円	601,686,494円	582,761,984円	563,267,126円	563,864,927円
受益権総口数	1,021,219,731口	1,002,881,918口	988,430,996口	952,166,238口	931,249,462口	920,728,492口
1万円当たり基準価額	6,494円	6,372円	6,087円	6,120円	6,049円	6,124円

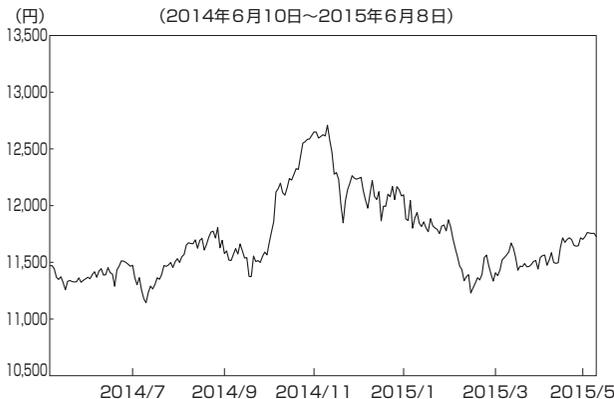
* 当作成期間中(2014年12月9日～2015年6月8日)における追加設定元本額は16,937,821円、同解約元本額は161,581,723円です。

組入上位ファンドの概要

ベアリング新興国債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2014年6月10日～2015年6月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2014年6月10日～2015年6月8日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	42	0.358
(保管費用)	(39)	(0.329)
(その他)	(3)	(0.029)
合計		

期中の平均基準価額は、11,765円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。

(注) 「その他」は、信託事務の処理に要する諸費用です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

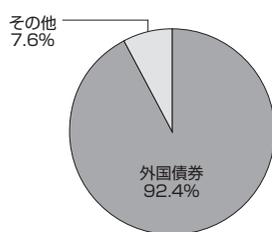
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

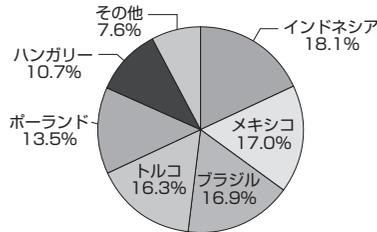
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 インドネシア国債 10.75% 2016/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	18.1
2 メキシコ国債 6.50% 2022/6/9	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	17.0
3 ブラジル国債 10.00% 2017/1/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	16.9
4 トルコ国債 10.00% 2015/6/17	国債証券	トルコリラ	トルコ	16.3
5 ポーランド国債 5.75% 2022/9/23	国債証券	ポーランドズロチ	ポーランド	13.5
6 ハンガリー国債 6.75% 2017/2/24	国債証券	ハンガリーフォント	ハンガリー	10.7
7	—	—	—	—
8	—	—	—	—
9	—	—	—	—
10	—	—	—	—

組入銘柄数 6銘柄

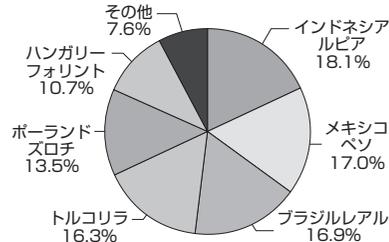
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年6月8日現在のものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入上位10銘柄の国(地域)および国別配分につきましては発行国ベースです。

(注) 通貨別配分は組入債券にかかる通貨別構成比です。

○代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数

日本株－東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株－MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株－MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債－NOMURA－BPI国債

先進国債－シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債－JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA－BPI国債

野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA－BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。